

2019.3.27 坂井地区多職種連携セミナー

【主催】 福井大学医学部地域医療推進講座
主に坂井地区内で保健・医療・福祉に従事しているの方々を中心に、「耐性菌や吸痰」にまつわる悩みや取り組み、考え方を地域で共有し、明日からの実践に活かせる情報を得ることができました。坂井市内の医療機関、介護老健施設の看護師・介護福祉士など多くの職種の方61名にご参加をいただき、実りあるセミナーになりました。

2019.8.4 肺の日記念 市民公開講座

【主催】 一般社団法人 日本呼吸器学会 北陸支部
坂井市みくに市民センターにおいて、市民の方に向け、気管支喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）・タバコ病・睡眠時無呼吸症候群・肺がん・間質性肺炎などの肺の疾患について、予防方法や禁煙相談などわかりやすく解説しました。第2会場の三国病院ホールでは、肺年齢測定、吸入薬に関する相談・指導、肺の画像検査の仕組み、正しいマスクのつけ方などもご提供。猛暑ではありましたが200名を超える市民の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。



2019.9.26 院内コンサート

【主催】 (公財) 坂井市文化振興事業団
坂井市文化振興事業団のご協力のもと、院内コンサートを開催しました。ハープ奏者の山本真美さん(勝山市)、ソプラノ歌手小原奈保美さん(三国町)をお招きし、患者さんと心癒しの時間を味わうことができました。患者さんが笑顔で退院できるようスタッフ一同願っております。



column

患者サービス向上委員会しよえの渡江です。私事ですが、本紙発行中に骨折しまして、手術・入院中です。患者として三国病院に関わる貴重な機会を得ております。入院生活をたくさんの方々に支えられている事を実感しています。

2019.11.8 三国北小学校「まちたんけん」

小学校の生活科学習の一環で、地域の施設見学があります。今回三国北小学校から3人の子どもたちが、当院の見学に訪れました。病院で働く人たちは、子どもたちの目にどう写ったでしょうか。地域の子どもたちの育成に貢献できていればとても幸いに思います。



厨房見学

リハビリ見学

2019.11.14 院内研修「医療接遇について考える」

患者さんが求めているものとして、第一は治療をしっかりしてくれること、第二は気持ちに寄り添ってくれること、第三は病と闘う勇気をもらうことこれらを実現するために、印象を良くする「笑顔」、「あいさつ」、「身だしなみ」の基本を教わりました。これからも三国病院がより良い病院になるために、努力をしていきます。期待してください！



2019.12.14 いっぺん聞いてみねの「ゆりの里市民講座」

【主催】 大石地区まちづくり協議会・ゆりの里公園
多くの高齢者は複数の持病を有し、身体活動性も低下気味です。慢性肺疾患や高齢者肺炎の弊害を解説し、身体活動性の重要性について館嶋院長が講演。その中で三国病院が地域医療にどのように貢献できるか。若いスタッフも講演を手伝い、「安心してお任せください」と市民の皆様にお伝えしてきました。



Seaguly

シージーリー

三国病院広報紙

シージーリーとは
市の鳥カモメ (seagull) と市の花ユリ (lily) を合わせた造語。ユリの花言葉のように純粋・無垢に患者様と向き合います。

坂井市立三国病院広報紙の発刊にあたり

院長 館嶋 慎吾

新年明けましておめでとうございます。坂井市立三国病院院長の館嶋と申します。当院の新たな広報誌発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。当院は明治15年に「公立坂井病院」として発足し、135年以上の歴史を誇る地域に密着した病院であります。平成18年の市町村合併時、病院新築と共に現在の「坂井市立三国病院」へと生まれ変わっています。このような由緒ある病院の院長として私自身は平成29年4月に身の引き締まる思いで着任したことを思い返します。昨今、新聞等で全国的に病院運営上問題を抱える地方公的病院が報道され、その中に当院も含まれておりましたが、報道された記事の中で根拠となった資料は今から約3年前のものでした。その翌年に私自身が院長に着任したわけですが、幸い優秀な医療スタッフも揃ってましたし、前年に提出された「新改革プラン」をベースに病院改革を進めてきております。具体的には、平成29年7月に105病床のうちの43床を高齢化社会のニーズに合わせて「地域包括ケア病床」に変更しております。さらに、診療所や介護施設との連携や大病院との連携をより良くするための地域連携室の充実を図り、民間的考えも取り入れたスタッフの意識改革や人事面での一部刷新なども推し進めてきています。新しい元号「令和」となった現在は、スタッフの多大な協力の下、病床利用率や稼働率は報道記事内容より約25%程度改善することができています。それでも、目標に到達には未だ道半ばですので、今後も改革を立ち止まることなく進めて参ります。

当院では、地域住民の救急医療（一次救急および二次救急）を担っていく、子育て支援の一環としての小児医療並びに分娩業務を含む周産期医療を継続していく、地域の透析患者の受け入れを進めていく、などの医療も担っています。これら医療の継続・発展も含め今後もより良い医療を提供できるよう改善して参りますので、地域住民の皆様にも暖かく見守っていただければ幸いです。

今回、このような広報誌を発刊させて頂き、地域住民の皆様が坂井市立三国病院をこれまで以上に知っていただくと共に、病院主催のイベントや市民公開講座などの情報も掲載していく予定です。これらを通じて、地域に密着した身近な総合病院の位置づけで、坂井地区地域医療に貢献すべく努力を続けていく所存ですので何卒宜しくお願い申し上げます。



学歴および主な職歴	
昭和60年3月	富山医科薬科大学(現・富山大学) 医学部医学科卒業
昭和60年5月	福井医科大学(現・福井大学) 第三内科入局
平成4年6月	福井大学 大学院医学研究科 博士課程修了(医学博士)
平成6年1月	福井大学医学部附属病院 検査部助手
平成8年4月	福井大学医学部附属病院 第三内科助手
平成9年1月	福井大学医学部附属病院 内科学(3)助手
平成12年7月～	文部科学省在外研究員として コロラド大学肺高血圧センター留学(デンバー、USA)
平成13年7月	福井大学医学部附属病院 第三内科講師
平成18年4月	福井大学医学部附属病院 呼吸器内科副科長(兼任)
平成29年4月	坂井市立三国病院 院長 現在に至る
学位・免許・資格	
昭和60年5月	医師免許取得
平成2年9月	日本内科学会 認定医取得
平成4年6月	福井医科大学(現・福井大学) 医学博士取得
平成5年4月	日本呼吸器学会 専門医取得
平成11年4月	日本呼吸器学会 指導医取得

- 主な所属学会
日本内科学会
日本呼吸器学会(代議員)
日本肺癌学会
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会(代議員)
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会



皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は、これまで複数の民間病院で職務を重ね、2019年4月より坂井市立三国病院の事務局長に着任いたしました。

周知のとおり、病院が「淘汰」される時代に入り久しくなりますが、廃業、M&Aなど病院が潰れる事由のほとんどが経営難によるものであります。昨今、医療を取り巻く環境は増々厳しくなり、すでに独法化等により公立病院でなくなった病院も少なくありません。そのような時に、民間出身の私が三国病院に着任したことは、三国病院はこれから将来も公立病院として地域の皆様に貢献していく、そのために民間の手法を取り入れるとの坂井市の強い決意の現れでございます。私自身もその責務を果たすために全力を尽くしたいと決意しております。

三国病院の今後の課題を要約しますと、「経営・財政の健全化」「患者サービスの向上」「地域交流」であると考えます。病院経営の根幹は安定した病床利用率にあります。「良い病院」の定義は難しいですが、私は多くの患者さんを受け入れている病院は「良い病院」だと思っておりますので、掲げた数値目標にこだわりを持ち目標達成に取り組みたいと考えます。また、今や病院は「サービス業」であります。「患者＝顧客」であるとの概念をもち、患者サービス向上を目指すことが大変重要であります。そして、地域住民はもとより地域の他の医療機関や施設との病病・病診連携、関連団体との関わりをこれまで以上に充実していくことが求められていると考えます。

取り巻く環境が厳しいからと言って、嘆いては「絶滅種」となり淘汰されます。

「種の起源」にあるように、変化する環境に順応するしか進化、生き残りはないと信じます。

しかし、組織の意識改革は容易なことではありません。可能な事柄からひとつずつ着手して、院長を中心に職員一丸となって課題に取り組んでまいります。

どうか皆様、本年も坂井市立三国病院を何卒よろしくお願い申し上げます。

あいさつ 地域医療連携室

地域連携室室長

清水

壽子

地域の医療機関関係者ならびに福祉施設関係者の皆様には、日頃より当院の医療連携にご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

私たちが坂井市立三国病院の地域連携室で業務するスタッフです。

看護師2名、社会福祉士2名、事務1名で医療相談、入院調整、退院支援等を行っています。

私たちの幸福は、鳥がさえずり空を飛び回り、花が咲き香りを放つように、そして人が笑い歩くという普通のことにあると思います。普通のことが続けられるよう微力ながらお手伝いできたら幸いです。

笑顔と元気を発信できる連携業務を遂行したいと考えています。

これからもどうぞよろしく願いいたします。



直通TEL：0776-82-5222 直通FAX：0776-82-7050

当院の診療部門について



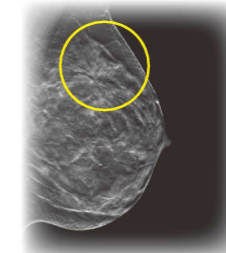
●詳しくはHPをご覧ください



坂井市立三国病院で乳がん検査を受けましょう

乳がんにかかる人は11人に1人です

- 三国病院で乳がん検診が受けられます
- 予約がなくても当日に検査が受けられます
- マンモグラフィ撮影と乳腺エコー検査を同日に行えます



当日の流れ(検査時間：半日)

婦人科受付 → マンモグラフィ撮影 → 乳腺エコー検査 → 会計
※クーポンと保険証を持参してください

マンモグラフィ撮影

多方向から撮影した情報を使って画像を再構成する技術「トモシンセシス」機能を搭載しています。通常のマンモグラフィ画像では乳腺に埋もれやすい所見も精度よく観察できます。

乳腺エコー検査

マンモグラフィで見つけられる病気とエコーで見つけられる病気には違いがあります。両方の撮影・検査を行うことで病気の発見率を高めることができます。

●詳しい内容は、病院スタッフにおたずねください 放射線科・検査科 TEL：0776-82-0480(代)